

国際会議から 人とコンピューターの相互作用に関する国際会議 (HCI 2013)

本会議は、これまで2年に一度開催され、2013年で15回目の開催となります。2013年は世界70カ国から、大学や研究機関の研究者が5000人以上参加しました。

研究トピックは、人と機械が相互作用する研究であれば幅広く取り上げられ、情報工学、人間工学、機械工学を含めた工学を中心に、認知科学や心理学といったさまざまな分野の研究者が一堂に会します。また、道路交通、航空、軍事といったさまざまなフィールドの研究者が発表を行っていました。発表形式は、オーラルセッション、ポスターセッションに分かれており、筆者は指差喚呼のエラー防止効果のメカニズムを検証した結果について、ポスターセッションで発表を行いました。今回検証した以外のエラー防止効果の可能性や、日本で指差喚呼が行われる場面についての質疑がありました。



増田貴之  
人間科学研究部  
安全心理研究室  
研究員

会議が開催されたラスベガスの交通について少し紹介します。ラスベガスの主な交通手段はバスのようなです。DEUCEという二階建てバスと、SDXという急行バスが運行されています。また、モノレールも運行されており、駅の多くはホテルと直結しているため、主にホテル間の移動に使われているようです。



モノレール

正式名称：15th International Conference on Human-Computer Interaction  
 開催国：アメリカ(ラスベガス)  
 期間：2013/7/21 - 26  
 主催：HCI International  
 開催頻度：隔年(2014年から毎年)  
 次回開催予定：2014年6月 ギリシャ(イラクリオン)  
 ホームページURL：http://www.hcii2014.org